

46th U-22プログラミング・コンテスト2025

第137号

U-22プログラミング・コンテスト
公式Webサイト>>><https://u22procon.com/>

Diamond Sponsor:
アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社／さくらインターネット株式会社

発行:U-22プログラミング・コンテスト運営事務局

| 1 | 応募受付開始！締切は8月29日

U-22プログラミング・コンテスト2025および第4回U-22キービジュアルコンテストは、7月1日より応募受付を開始しました。(締切:8月29日)。

今年は、応募前に行われた審査委員会で、コード生成AIの取り扱いについて議論されました。

結論として、委員全員の総意により、作品制作過程におけるコード生成AIの活用については問題ない、という結果となりました。さらに、これまでにない新しい活用手法を見出すなど、コード生成AIを使うことによる独創性・新規性が認められる場合や、実装に高度な技術力を要する場合は、加点要素になります。しかしながら、コード生成AIを活用する場合、現状ではまだプロンプトエンジニアリングスキルが必要です。プロンプトやリファクタリングが不十分で、デッドコードが多く含まれる場合は減点要素につながります。

誰もがプログラミングに触れる機会をもつようになった今、ぜひコンテストを活用して、日ごろの成果を披露してみてください。今年から参加資格を改変し、生徒・学生であれば28歳以下、社会人・フリーター等であれば22歳以下の方であれば、どなたでもご参加いただけます。

また、参加資格対象外の方々に関しては、11月30日に行われる最終審査会をオンラインでご視聴いただき、次世代の若手プログラマーたちの発想・能力に触れ、彼らの今後の成長を見守るとともに、ご自身のモチベーション向上やビジネスのヒントにもつながっていただけますと幸いです。
(視聴用のURLは後日公式Webサイトで発表します)

昨年に引き続き、来年のキービジュアルをU-22世代から募集する「第4回U-22キービジュアルコンテスト」も併催し、若者ならではのアイデアで、同年代の応募を訴求するとともに、一緒にU-22プログラミング・コンテストを盛り上げてもらうことを期待しております。

どちらも募集期間は7月1日から8月29日までとなります。皆様からのたくさんの応募を楽しみにしています。

46th U-22プログラミング・コンテスト2025

▼U-22プログラミング・コンテスト エントリーフォーム

<https://u22procon.com/entry/>

▼第4回U-22キービジュアルコンテスト エントリーフォーム

<https://u22procon.com/keyvisual/entry/>

| 2 | U-22プログラミング・コンテスト2025を支える協賛企業紹介

U-22プログラミング・コンテスト2025は若手ITエンジニアを応援する企業の皆様に支えられて46回目の開催を迎えます。

今回はゴールドスポンサー2社をご紹介します。

○株式会社ピーエスシー (<https://www.psc-inc.co.jp/>)

株式会社ピーエスシーは、情報技術を追究することで世の中の「不便・不満・不安」を解消する総合デジタル企業です。

Microsoft、IBM、Google、Cisco、VMWare 社など世界的IT企業とのパートナーシップを結び、お客様企業にとってのナンバー1&オンリー1企業であるために、先進の技術力を磨き続けています。

DX推進を支援すべく、クラウドアプリケーションサービス「Coo kai」

「Perfect Finder」「OneTeam」を自社開発し提供すると共に、10年後のシステム構成を見据え、Cloud技術やセキュリティ技術にも積極的に取り組んでいます。

技術力だけでなく社内の働く環境や制度づくりも大切にしています。経済産業省から「健康経営優良法人」として7年連続認定、「ホワイト500」は6度目の認定を受けました。

また、スポーツ庁から「スポーツエールカンパニー」として6度目の認定、

東京都から「東京都スポーツ推進企業」として7年連続の認定を受けました。

私たちは、お客様そして社員を幸せにするため、日々企業理念である

「3S=Success(成功)、Satisfaction(満足)、Smile(笑顔)」を追究しています。

46th U-22プログラミング・コンテスト2025

○株式会社フォーラムエイト

<https://www.forum8.co.jp/>

フォーラムエイトは、コンピューターが企業に導入され始めてきた1980年代、土木設計パッケージソフトUC-1シリーズを発表。以来40年間、自社開発製品である、デジタルツイン・メタバースを実現する国産VRCGソフト、クラウド、AIソフトを通し、国土強靱化・脱炭素・持続可能なインフラ社会の実現に貢献しています。2000年リリースの3DVRソフトUC-win/Roadは、統合型3DCGソフトShade3Dとともに国産ソフトトップシェアを獲得(2019-2020年キメラ総研調べ)。2010年にはいち早くSaaSに対応し、3DVRクラウドシステムVR-Cloud(R)で特許を取得しています。これらのソフトウェアはバージョンアップを重ねて進化を続けており、近年では、Web3システム・NFTサービスおよびWeb4.0への展開、AI技術の活用をはじめとして、DXを支援する製品・サービスの開発を積極的に推進しています。

(スポンサーに関するお問い合わせはコンテスト事務局までお願いします。)

3 | U-22プログラミング・コンテスト2025 委員紹介

U-22プログラミング・コンテスト2025を企画・運営・審査する実行委員、審査委員をご紹介します。

○実行委員

鈴木 正之

(株式会社フォーラムエイト 代表取締役副社長)

1996年、4名で浜松町のワンルームマンションにてITサービスを行う株式会社ピーエスシーを創業。

代表取締役就任(現任)

○実行委員

武井 千雅子(ピー・シー・エー株式会社 代表取締役社長)

1989年フォーラムエイト入社。設計CADをはじめ、3DCAD、FEM解析など自社開発

の国産ソフトウェアビジネスを手掛け、2000年のVRソフトUC-win/Roadリリースより、エバンジェリストとしてVRおよびメタバース関連ビジネスを展開。2013年より同社代表取締役副社長。SAJ理事。

46th U-22プログラミング・コンテスト2025

○審査委員

金原 敬
(株式会社ピーエスシー Cloud Apps事業部 プロダクトマネージャー)

2009年に株式会社ピーエスシーに入社し、Webエンジニアとしてキャリアをスタート。

その後、Microsoft/Googleネイティブなクラウドグループウェア「Coo Kai」の立ち上げ及びプロダクトマネージャーとして、Microsoft 365/Google Workspaceを利用する多くの企業の利活用推進を支援。現在は、AIを活用したアプリケーションの開発チームを立ち上げ、新たな価値を創造するプロダクトの開発に取り組む。

○審査委員

寛 捷彦
(早稲田大学 名誉教授)

1970年東京大学大学院卒業後、同校助手、立教大学助教授などを経て1986年早稲田大学理工学部(現、基幹理工学部)教授に就任、2016年には同校名誉教授となる。情報処理技術の標準化と情報教育推進に注力し、ACM-ICPC日本ICPC?Board 議長、パソコン甲子園プログラミング部門 審査委員長など、多数コンテストの委員経験をもつ。U-22プログラミング・コンテストには2015年より審査委員長として関与、現在は情報オリンピック日本委員会理事長、情報科学国際交流財団理事長なども兼任する。

※U-22プロコンメルマガは最新情報をお届けします。

「.....」

一般社団法人ソフトウェア協会(SAJ)
U-22プログラミング・コンテスト運営事務局
〒107-00 東京都港区赤坂1-3-6 赤坂グレースビル4F
TEL:03-6435-5991 FAX:03-3560-8441 E-mail:u22-info@saj.or.jp
公式Webサイト <https://u22procon.com/>
▼コンテストの最新情報はU-22メルマガで配信中!
<https://www.saj.or.jp/u22mailmaga/index.php>
Facebook・twitter 「@u22procon」で検索
Instagram <https://www.instagram.com/u22procon/>
Discord <https://u22-procon-discord.ishikari-dc.jp/join?role=1217992563085152376&token=5Yuu3rKQC@n5k8e-XXYiSFnZds95BHWi7m>

※配信停止希望は「u22-info@saj.or.jp」宛に配信停止を希望するメールアドレスと併せてご連絡ください。

「.....」